

わくわく

4月号

本だな

1 2 3 年



えほん

ホームページも
みてね！



E 『ネコになれたかったクモのルイージ』

ミシェル・ヌードセン／さく ケビン・ホークス／え 福本友美子／やく

岩崎書店

ルイージは、毛がもじゃもじゃの大きなクモです。それなのに、ベティおばさんには子ネコだと思われてしまいました。ふたりはおもちゃで遊び、それからえいがをみます。さいしょはこまっていたルイージでしたが、だんだんネコのふりをするのもいいかもしれない、と思うようになりました。

ものがたり

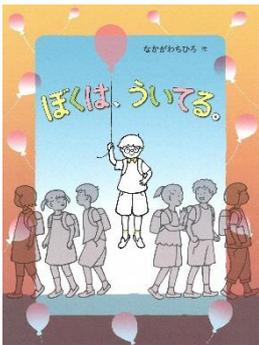


K913 『きょうはおやすみます がっこうのてんこちゃん』

ほそかわてんてん／さく 福音館書店

ある朝、てんこちゃんは「今日はなんとなく学校に行きたくないなあ」と思いました。学校に行きたくない理由は、てんこちゃんにもよく分かりません。具合が悪いわけではないけれど、なんとなく行きたくないのです。てんこちゃんはゆうきを出して、お母さんに自分の気持ちを伝えました。

ものがたり



K913 『ぼくは、ういてる。』

なかがわちひろ／作 のら書店

一平くんは、他の人とちがうことを考えたり、なにかにむちゅうになっているときに、ちょっとだけ地面からういてしまいます。

学校からの帰り道、一平くんは同じクラスのほのかさんもういていることに気がつきました。ふたりはふわりふわりと歩きながら、ういているときに感じることを話し合います。

ちしきのほん



E 『せがのびる』

やぎゆうげんいちろう／さく 福音館書店

みなさんは、赤ちゃんだったときの体の大きさをおぼえていますか？

赤ちゃんのときはとても小さかったのに、みなさんはあっという間に大きくなりました。体がどんどん大きくなるのは、体の中にある〈ほね〉がかんけいしています。この本では、ほねの仕組みや、何さいまでせがのびるのかをしょうかいします。

としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200

わ く わ く

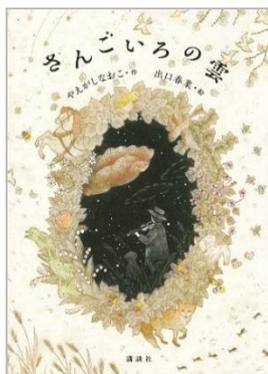
4月号

本 だ な

4 5 6 年



ホームページも
みてね!



K913 『さんごいろの雲』

やえがしなおこ／作 出口春菜／絵 講談社

村はずれのおかの上で、ひとりのバイオリンひきが曲を奏かなでています。遠くの空まで曲が流れたとき、さんごいろの小さな雲が曲をほめてくれました。お礼として、バイオリンひきはまほうをかけてもらいます。それは、バイオリンをひくと、悲しんでいる人の小さな願ねがいがかなうまほうでした。

7つの不思議な世界のお話を集めた短編集たんべんしゅうです。

物語

K949 『真夜中の4分後』

コニー・パルムクイスト／作 堀川志野舞／訳 まめふく／絵 静山社

お母さんが息を引き取る直前、ニコラスは思わず病室を飛び出してエレベーターに乗りこみました。初めて見る赤いボタンをおすと、〈終点〉という生と死のはざまの場所にたどり着きます。ニコラスは、そこで出会ったおばあさんに「前に進むか、後ろにもどるか」と聞かれました。終点の時刻は0時4分、お母さんが死んでしまう2分前で止まっています。ニコラスはお母さんを死なせないために、後ろにもどることを決めました。

物語



K667 『捨てられる魚たち』

「未利用魚」から生まれた奇跡の灰干し弁当べんとうものがたり』

榎木春幸／著 講談社

未利用魚とは、食べることができるにも関わらず、さまざまな理由があつて市場に出まわらない魚のことです。この本を書いた榎木さんは、地元の鹿児島県の漁師から「自分たちが捨ててしまう魚を使って何か作れないか」と相談されました。榎木さんは、料理人としての知識と経験をいかし、未利用魚の商品化にいとみます。

ちしきの本

図書館のまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね!〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200